

年間目標		年間目標				
期	健康目標	保育行事	健康面、安全衛生留意点	保護者、園児への働きかけ	職員	備考
Ⅰ期 4・5・6月	・健康・発育状態を把握する。  ・家庭と園の生活リズムを整える。  ・食中毒の予防。	・新入園児との面談（必要時）  ・定期健康診断 ・乳児健診（1回/月） ・身体測定（1回/月） ・歯科検診 ・正しい手洗いの指導（1・2歳児） ・尿検査（3～5歳）	・入園前の健康状態・体質などを把握する。  ・日々の健康状態・発育を把握する。  ・保育を通じて園児との信頼関係を構築していく。  ・健診がスムーズにすすむよう職員同士で連携をとっていく。  ・玩具・室内が清潔に保たれているか、危険な場所はないか確認・対応する。	・家庭生活と保育園生活の違いについて知らせる。  ・入園前の健康状態、生活状況の情報提供を呼びかける。  ・入園前に終了していない予防接種は接種を促す。  ・健康診断・歯科検診・尿検査・身体測定の結果しらせ、必要時にアドバイスする。	・新入園児の既往歴やアレルギー、予防接種を共有し、注意する点について話し合う。  ・毎月腸内細菌検査を実施し、結果を確認する。	・新入園児の個別健診記録を作成する。  ・嘱託医への連絡調整を行う。  ・健康診断・歯科検診・尿検査の準備を行い、結果のお知らせを作成する。  ・定期職員健康診断日程表作成、病院との調整を行う。  ・保健だよりの作成・発行。  ・視診簿等の記入をする。
	・暑さに負けず元気に過ごす。  ・安全に水遊びを楽しみ、水遊びを通じて健康な体づくりを行う。	・プール遊びの安全衛生管理  乳児健診（1回/月）。  ・正しい手洗い方法の指導（1・2歳児）  ・身体測定（1回/月）	・プールに入る前に、臀部・陰部を流水で洗い流す。（塩素消毒含む）  ・食欲の減退や体力の低下に注意し、栄養・睡眠が十分にとれるよう援助する。  ・季節の変わり目の体調管理に留意する。  ・プールの衛生管理・水温・気温・水質・時間を確認する。  ・夏に流行する疾患を踏まえ、日々の健康状態を観察していく。  ・水分補給を積極的に行い熱中症を予防する。 ・プールに入れない月齢の児は汗を流す目的で沐浴を実施し、皮膚の清潔を保つ。  ・冷房による室温・換気に注意する。  ・紫外線対策を実施する。  ・保護者に確認後、虫よけスプレーにて虫刺されを予防する。  ・虫刺され時の皮膚・全身状態に注意する。  ・アトピー性皮膚炎のある児は皮膚の状態を注意して観察していく。	・夏に流行る疾患について  ・熱中症予防について  ・プールで感染しやすい病気について知らせ、早めに対応できるようにする。  ・プール遊び期間の健康チェックへの協力。  ・夏休みにより生活が乱れないよう協力を依頼する。  ・栄養・睡眠・休息が十分とれるよう協力を依頼する。	・夏に流行る感染症やプールで感染しやすい病気について共通理解をし、早期に対応できるようにする。  ・毎月腸内細菌検査を実施し、結果を確認する。  ・応急対応時について学ぶ。 （蘇生法・応急処置法）	・感染症発生時、園内に状況を掲示し、注意喚起する。  ・必要時、感染症発生状況を、市役所・保健所等へ連絡する。  ・救急箱の確認（1回/月）  ・救急セットの確認（1回/年）  ・吐物処理セットの確認（随時）
	Ⅲ期 10・11・12月	・寒さに負けない体力作りをする。  ・インフルエンザを含む風邪の予防に努める。	・歯科検診  ・乳児健診（1回/月）  ・定期健康診断 ・身体測定（1回/月） ・正しい手洗い方法の指導（0. 1. 2歳児）  ・鼻のかみかた指導（1・2歳児） ・身体測定（1回/月）	・年齢、体調などを考慮し、無理のない範囲で体力促進を促していく。  ・免疫力を向上させるため冬にむけて薄着を心掛けていく。  ・戸外活動が増える為、事故防止に努める。  ・部屋の温度・湿度、換気に注意し適切な手洗いを行えるよう援助する。  ・季節の変わり目で体調を崩しやすい為、注意していく  ・冬に流行る感染症を踏まえ日々の健康状態を観察する。症状発見時には速やかに対処できるようにする。	・薄着のメリットについて情報提供し、薄着の習慣をつけるように働きかける。  ・足にあっている靴選びについて情報を提供する。  ・活動しやすい衣服・靴を用意してもらう。  ・手洗い・うがいの必要性を説明し、家庭でも実施してもらい習慣化する。  ・目の愛護デーに合わせ、視力についての情報を提供する。  ・冬に流行る感染症について情報提供し、早めの受診を呼びかける。	・定期健康診断  ・冬に流行る感染症について共通理解をし、早期に対応できるようにする。  ・感染性胃腸炎時の対処方法を習得する。  ・インフルエンザの予防接種を受ける（11月上旬）  ・毎月腸内細菌検査を実施し、結果を確認する。
	Ⅳ期 1・2・3月	・生活のリズムを整える。  ・寒さに負けない体力作りに努める。  ・感染症予防に努め健康に過ごす事ができる。	乳児健診（1回/月）  ・正しい手洗い方法の指導（0・1・2歳） ・うがい指導（1・2歳児）  ・身体測定（1回/月）  ・新入園児との面接（必要時）	・インフルエンザ、感染性胃腸炎などの感染者が多くなる時期のやめ早期発見・予防に努める。  ・感染症発生時は拡散を防ぐ為、皮膚の状態を観察し、必要時対応していく。  ・室温と外気温の差があるため衣服の調整に努める。  ・空気が乾燥する為、適切な湿度を保てるようにする。  ・戸外活動時の事故防止に努める。  ・個人の体調に合わせて活動できるよう援助していく。  ・進級にむけて予防接種の接種状況を確認する。	・感染性胃腸炎時の消毒方法について情報提供する。  ・長期休み時の生活リズムが崩れないよう協力を依頼する。  ・進級するにあたり、予防接種の漏れがある場合は接種を促す。  ・スキンケアについて情報を提供する。  ・新入園児へ感染症、体調不良時、ケガをしたときなど保育園での対応を説明する。	・毎月腸内細菌感染検査を実施し、結果を確認する。

保健目標		4～5月		6月	7～8月	9～12月	1～2月	3月
		・新しい環境に慣れ安定して過ごす ・生活リズムを整える		・歯を大切に ・暑い時期を健康に過ごす ・梅雨の時期を健康に過ごす	・暑い時期を健康に過ごす	・生活リズムを整える ・目を大切にする	・寒い時期を健康に過ごす ・冬の感染症を予防する	・進級、進学に向け生活リズムを整える
保健行事		・身体測定（月1回） ・内科健診（年2回） ・尿検査（3歳児以上） ・乳児健診（月1回） ・歯科健診（年2回） ・職員健康診断（年1回） ・職員検便（月1回）						・入所前の健診 園児の健康状況、医療的配慮 予防接種、アレルギーなど。
保健活動	通 年 的 に 実 施	年度当初は特に全職員で情報を共有し取り組む  ・児童の健康状態、発育発達の把握 ・予防接種状況の把握と推奨・健康（母子）手帳の確認 ・アレルギー児童の把握 （食物アレルギー、ハウスダスト、アトピー、喘息など）  ・医療的配慮を必要とする児童の把握 ・睡眠時の観察（睡眠時の事故予防）			・発達段階に応じた健康安全衛生管理 ・発育発達の把握 ・安全対策、所内外の安全点検管理 ・感染症予防対策（保育所における感染症対策ガイドライン：厚生労働省・保育所における感染症マニュアル参照） ・保育所サーベイランスの活用 ・感染症集団発生時の状況把握と対応（福島市幼稚園・保育課等との連携） ・室内の環境調整（清掃と玩具の消毒、室温、湿度、換気、空調管理等） ・頭髮の観察（アタマジラミの早期発見、予防） ・薬の取り扱い（管理、確認、誤薬防止等） ・事故防止と対策・緊急時対応確認（救命処置、心肺蘇生） ・応急手当（緊急時・ケガの対応） ・虐待予防、早期発見 ・害虫による被害対策（毛虫、ハチなどの害虫駆除、虫除け虫刺され対策） ・防災対策、災害への備えと避難訓練等 ・各種健診・測定の準備、対応、事後処理（受診勧奨） ・各種記録表の確認、作成 （健康観察表、身体測定表、予防接種、感染症罹患状況表、睡眠時観察表、健診結果、アレルギー一覧表、薬連絡票等）			
	季 節 的 に 実 施	・預かり初期の健康状態と睡眠状況の観察と事故防止対策  ・紫外線、PM2.5、花粉等の大気汚染環境の対策		・熱中症対策（暑さ指数） ・紫外線対策 ・食中毒予防 ・プール、水遊びの安全衛生管理と事故防止点検 ・紫外線、PM2.5、花粉症等大気汚染環境等の対策 ・夏祭り等の取り組みにおける安全管理及び健康管理		・運動会、発表会等の取り組みにおける安全管理及び健康管理  ・紫外線、PM2.5、花粉症等大気汚染環境等の対策		・紫外線、PM2.5、花粉症等大気汚染環境等の対策  ・卒園式等の取り組みにおける安全管理及び健康管理
職員研修		・緊急時対応シュミレーションの実施（心肺蘇生、食物アレルギー、アナフィラキシーショック対応、熱性痙攣、誤飲事故、睡眠時の事故、プール活動中の事故等） ・感染症予防対策 ・避難訓練等						
保健指導		・手洗い、うがい ・生活リズム ・保育所での安全（生活や遊びのルール）		・歯の大切さ ・歯の衛生（歯磨き） ・夏の過ごし方 ・衣服の調整		・ケガの対応 ・目の話 ・衣服の調整		・手洗い ・うがい ・咳エチケット ・就学前に向けて（生活リズム等）
保護者支援 （おたよりを含む）		・生活リズム ・健康管理 ・各種感染症 ・意見書、薬連絡票の取り扱い ・予防接種状況 ・各種健診、測定後の受診勧奨		・夏の感染症 ・紫外線、熱中症の予防等 ・プール水遊びの衛生管理配慮事項		・衣服の調整 ・冬の感染症 ・目の大切さ		・冬の感染症（インフルエンザ、感染性腸炎など）
年齢別・クラス別  配慮	0歳児	・個々の健康状態を把握し、発達を把握し環境の変化に注意する ・衛生的で安全な生活環境を作る ・SIDS発生予防の為、睡眠状況を観察する（預かり初期期間はより強化する）		・快適に過ごせるよう、水分や休息を適切にとり体調を整える  ・清潔に過ごし、皮膚トラブルに注意する		・個々の体力に応じ戸外活動を行う  ・気温の変化に応じ衣服調整を行う		・感染症や風邪からの合併症の予防に努める
	1～2歳児	・健康面、衛生面に配慮しながら安心して過ごす ・環境を整え、ケガや事故（転倒や噛みつき等）を予防する		・気温変化に応じ衣服調整、空調調整を行う（1～2歳児）  ・安全に水遊びが楽しめるよう個々の健康状態を確認する（3～5歳児）		・乾燥による皮膚トラブルを予防する  ・気温や運動量、体調に応じた衣服調整や薄着の習慣が身につくよう働きかける		・健康、快適に過ごせるよう、環境調整を行う  ・0～5歳児 風邪を予防する行動が自分から行えるよう働きかける
	3～5歳児	・自分の体や健康に関心を持ち、健康安全な生活に必要な習慣や態度が身につくように働きかける ・健康的に体作りができるよう、積極的に戸外で体を動かす		・安全にプール遊びが楽しめるよう個々の健康状態を確認する		・ケガや危険時の対処方法が身につく		